

学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』
2014年度新卒採用 マーケット速報

**学生1人あたりのエントリー社数は46.5社で13年度並み
13年度に比べ、就職活動を意識し始めた時期はやや遅れ気味
「企業セミナー」「選考」「内定出し」開始時期を
「前年より早くする」と回答した比率は13年度より増加**

人材総合サービス企業のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する、学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』（<http://gakusei.enjapan.com/>）は、2014年3月卒業予定の学生と求人企業を対象に、『2014年度就職活動・新卒採用』についての調査を実施いたしましたので、以下、概要をご報告いたします。

【全体傾向】

<学生>

学生1人あたりのエントリー社数は、13年度並みとなりましたが、就職サイトのオープンが10月だった12年度の同時期(11年11月)と比較すると、約3割減少しています。(※) また、就職活動を意識し始めた時期は、13年度に比べやや遅くなりました。13年度は「10月」と回答した学生が最も多かったのに対し、14年度は「12月」が最多となっています。

(※)倫理憲章が改正されたことにより、13年度・14年度は就職サイトのオープンが12月となりました。

<企業>

「企業セミナー」「選考」「内定出し」開始時期は、6～7割の企業が前年度並みと回答した一方で、いずれも「前年より早くする」が「前年より遅くする」を上回りました。

就職サイトのオープンが12年度より遅くなった13年度は、開始時期を「前年より遅くする」と回答した比率が高くなりました。しかし、14年度は「より多くの学生に会うため」「(活動開始時期を遅くしたことで)13年度の採用に苦戦したため」などの理由から、開始時期を13年度より早める企業が増加しました。

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階

TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com

【エン・ジャパン株式会社について】

人材総合サービス企業のエン・ジャパンは、日本最大級の求人求職サイト「[en]社会人の転職情報」や「[en]転職コンサルタント」をはじめとした6つの求人情報サイトを運営しています。さらに、これら日本最大級の求職者データベースから、人材紹介事業を展開しています。また、採用・教育・評価を一体化・統合化する独自の人事システム「3Eメソッド(R)」を開発し、スキルマッチに留まらない、より組織・事業にフィットした人材の採用から、入社後の活躍・定着までを一貫して実現するサービス展開を行ってまいります。

【学生動向】

<就職活動の状況>

学生1人あたりのエントリー社数は46.5社 (図1)

学生1人あたりのエントリー社数は46.5社と、13年度並みとなりました。就職サイトが10月にオープンした12年度の同時期(11年1月)と比較すると、約3割減少しているものの、就職サイトのオープン約2カ月後(14年度:13年1月、12年度:10年11月)の比較では、ほぼ同数となっています。

就職活動を意識し始めた時期は、12月がピーク (図2)

13年度に比べ、就職活動を意識し始めた時期は遅くなりました。13年度は、就職サイトがオープンする2カ月前の「2011年10月(15.9%)」と回答した学生が最も多かったのに対し、14年度は「2012年12月(17.4%)」が最多となっています。

約7割の学生が就職活動の印象を「先輩と変わらない」と回答 (図3、コメント1)

先輩と比較した就職活動の印象は「変わらない(67.5%)」が最多となり、13年度に比べ17.7ポイント増加しました。また、「先輩よりも就職しやすいと思う(21.0%)」も、13年度より8.8ポイント増加しています。理由としては「景気が回復しつつある」、「就職サイトのオープンが12月となった13年度の就職活動を経験した先輩から、スケジュールについての情報が得られる」などが挙げられました。

約6割の学生が「特に規模にはこだわらない」と回答 (図4、コメント2)

就職活動において興味・関心のある企業規模は「特に規模にはこだわらない(59.1%)」が半数以上を占めました。「大手企業にしか興味・関心がない」「大手企業を中心に就職活動を進めるつもりだ」は25.3%となり、13年度に比べ4.6ポイント増加しました。

【学生動向】

＜志望業界・職種＞

「志望している業界があるが、今後変わるかもしれない」が最多 (図5)

志望業界について「志望している業界があるが、今後変わるかも知れない(36.9%)」と回答した学生が最も多く、13年度に比べ2.7ポイント増加しました。一方、「今の志望業界が変わることはない(22.0%)」は1.3ポイント減少しており、13年度と比べると、志望業界に対して柔軟な姿勢を持っている学生が多いようです。

＜ソーシャルメディア＞

ソーシャルメディアを「就職活動で使っている」と回答した学生は約4割 (図6、7、8、9、10)

就職活動で最も使われているソーシャルメディアは「Facebook」で、利用率は約4割となっています。就職活動でソーシャルメディアを利用する目的は「情報収集」が高くなっており、企業の情報を知るためには「Facebook」や「Twitter」、他の就活生の情報を知るためには「Facebook」「Twitter」に加え「LINE」、と目的別に利用するメディアを使い分けているようです。

ソーシャルメディアが就職活動に「役立っている」と感じている学生は、前年比5.5ポイント増加 (図11、コメント3)

ソーシャルメディアが就職活動に「役立っている」と感じている学生は48.5%となり、13年度に比べ5.5ポイント増加しました。「役立っている」と感じている理由として「他の人の就職活動の状況がわかる」「最新の企業情報や選考状況など、様々な情報を得ることができる」などが挙げられました。一方で「どれほど信頼できる情報かわからない」といった否定的な声もありました。

【学生動向】

＜学生生活・職業観＞

就職活動開始後は「サークル・部活動」「アルバイト」の時間が大幅に減少 (図12)

就職活動開始後は、就職活動開始前に比べ「サークル・部活動」の時間が約7割、「アルバイト」の時間が約5割減少しています。一方、就職活動開始後の「一人で過ごす」「家族で過ごす」時間は、就職活動開始前に比べ0.5ポイントの減少にとどまっており、自分に必要な時間を確保しながら、就職活動の時間を作っているようです。

就職活動開始前より就職活動開始後の方が、働くことを「ポジティブ」に捉える傾向 (図13、14)

働くことに対して「ポジティブな印象」という回答は、就職活動前は39.0%だったのに対して、開始後は56.2%となり、大幅に増加しました。就職活動を通じて、働くことを前向きに捉えるようになるようです。一方で、13年度に比べ、就職活動開始後の「(ポジティブ・ネガティブ)どちらともいえない(23.2%)」はやや増加しています。就職活動を意識し始めた時期が13年度よりもやや遅くなり、働くことに対する意識の醸成が遅れていることが考えられます。

入社したい会社の条件は「人々に喜んでもらえる」が最多 (図15)

入社したい会社の条件は、13年度と同様に「人々に喜んでもらえる(47.8%)」が最多となりました。13年度と比べると「給与・福利厚生・休日・休暇など待遇が良い(32.6%)」「大きな達成感を味わえる(26.6%)」「世の中に大きな影響を与える(26.4%)」「学生時代の経験・専門知識を活かせる(23.5%)」と回答した学生の比率はやや増加しました。

仕事の志向性は「人々を幸せにする仕事」、働き方の志向性は「3年間は転職しない」 (図16)

仕事に対する志向性に近いものとして「人々を幸せにする仕事」「苦勞が多くても、成長の機会が大きい仕事」などが選ばれました。働き方に対しては、約8割の学生が「別のやりたいことができたら3年以内でも転職する」よりも「どんなことがあっても3年間は転職しない」という志向に近いと回答しました。

【企業動向】

<新卒採用計画>

13年度に比べ、新卒採用人数は増加傾向 (図17、18)

前年と比較した新卒採用人数を「維持(63.2%)」と回答した企業は半数以上を占めていますが、13年度に比べ5.2ポイント減少しました。一方、「増加(26.4%)」と回答した企業の比率は3年連続で前年を上回っています。新卒採用人数は増加傾向にあるようです。

<母集団形成>

7割以上の企業が母集団形成開始時期を「前年とほぼ同じ」と回答 (図19、20)

母集団形成開始時期は、就職サイトのオープン時期が13年度と同じであったため、「前年とほぼ同じ」と回答した企業が71.5%となりました。

(※)就職サイトのオープンは12年度までは10月でしたが、倫理憲章の改正により13年度・14年度は12月となりました。

エントリー数を「想定より少ない」と回答した企業が過半数超え (図21、22)

「全体のエントリー数」「ターゲット学生からのエントリー数」は、いずれも「想定より少ない」が過半数となっており、母集団形成に苦戦している企業が多いようです。

<企業セミナー>

企業セミナー開始時期を「前年より早くする」と回答した企業の比率が増加 (図23、24)

企業セミナー開始時期を「前年より早くする(29.9%)」と回答した企業は、13年度より13.0ポイント増加しました。一方、「前年とほぼ同じ(60.9%)」は最多となりましたが、13年度に比べ0.2ポイントの増加にとどまりました。

企業規模が大きいほど、13年度より企業セミナーの開催回数を「増加」と回答 (図25、26)

13年度と比較した企業セミナーの開催回数を「前年並み」と回答した企業は55.8%、「増加」は33.6%となりました。1000人以上の企業では「増加(49.3%)」が「前年並み(45.2%)」を上回っており、企業規模が大きいほど、セミナーの開催回数を増やす傾向にあるようです。

1回あたりの企業セミナー参加人数についても、1000名以上の企業は、他の規模群に比べ「(13年度より)増加」と回答した企業の比率が高くなりました。

【企業動向】

＜企業セミナー＞

企業セミナーの課題は「参加する学生の人数が少ない」が最多 (図27)

企業セミナーの課題は「参加する学生の人数が少ない(35.6%)」が最多となり、13年度に比べ12.3ポイントと大幅に増加しました。「採用スタッフの業務効率化(31.5%)」「事前キャンセルが多い(31.1%)」も13年度に比べ増加しています。

＜選考＞

選考開始時期を「前年より早くする」と回答した企業は、13年度の約2倍 (図28、29)

65.3%の企業が選考開始時期を「前年とほぼ同じ」と回答した一方、「前年より早くする(27.4%)」は13年度に比べ約2倍となり、開始時期を早める企業の比率が高くなりました。

選考の課題は「選考参加学生の質の向上」が最多 (図30)

選考の課題として、最も多くの企業が「選考参加学生の質の向上」と回答しました。この他、「選考辞退率の低減」「面接官の評価基準統一」「採用スタッフの業務効率化」「面接官の評価スキル向上」が続きました。

採用基準として今後重視したい能力は「主体性・積極性」がトップ (図31)

採用基準として今後重視したい能力は「主体性・積極性」が最も高く、次いで「ストレスに耐え得る力」「チャレンジ精神」となりました。一方、「他者と強調する力」「明るく感じ良く振る舞う力」「素直さ」を今後重視したいと考えている企業は減少しています。

＜内定＞

内定出し開始時期を「前年より早くする」と回答した企業が、13年度に比べ増加 (図32、33)

内定出し開始時期を「前年とほぼ同じ」と回答した企業が71.9%で最多となったものの、「前年より早くする(24.0%)」と回答した企業は、13年度に比べ8.4ポイント増加しました。

【調査概要】

<学生調査>

調査対象：2014年3月卒業予定、全国の学生約23万人

調査期間：2013年1月16日～1月28日

調査方法：E-mailによるWEB投票画面の配信

有効回答数：3123件 ※有効回答数…総回答数から未回答を差し引いたもの

■男女

男性	女性
58.1%	41.9%

■文理

文系	理系
70.3%	29.7%

■学校区分1

四年制大学	大学院	短期大学	高等専門学校	専門学校
87.3%	10.8%	0.4%	0.1%	1.5%

■学校区分2

私立	国立	公立	その他
80.0%	15.8%	4.0%	0.2%

■在籍地域

北海道・東北	関東・甲信越	中部・北陸	近畿	中国・四国	九州・沖縄
4.6%	55.1%	11.3%	23.2%	3.0%	2.8%

調査データの回答学生比率を実際の学生マーケットにおける比率に調整するため、文部科学省学校基本調査平成24年度版における男女・文理比を参考にし、集計時にウェイトバックをかけています。

<企業調査>

調査対象：メールニュース「[en]学生の就職情報パートナーズNews」登録企業（05年度～13年度各種就職サイト掲載企業）

調査期間：2013年1月16日～1月28日

調査方法：E-mailによるWEB投票画面の配信

有効回答数：594件 ※有効回答数…総回答数から未回答を差し引いたもの

■企業規模

50人未満	50～100人未満	100～300人未満	300～500人未満	500～1000人未満	1000～3000人未満	3000～5000人未満	5000人以上
12.6%	16.7%	32.7%	12.6%	12.8%	8.9%	1.5%	2.2%

■本社所在地域

北海道・東北	北関東	南関東	甲信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外
2.9%	1.0%	56.1%	1.0%	0.3%	14.8%	18.4%	1.2%	3.0%	1.3%	0.0%

■業種分類一覧（業種別集計参考資料） ※回答企業属性メイン・サブ業種の回答をあわせて集計・分類

メーカー (電気・機械・精密) n=67	メーカー(電子・電気機器)	金融 n=21	銀行	サービス n=60	フードサービス
	メーカー(機械・プラント)		証券		ホテル・旅行
	メーカー(精密・医療機器)		商品取引		アミューズメント・レジャー
	メーカー(印刷・事務機器関連)		生保・損保		医療・福祉
メーカー(輸送機器) n=13	メーカー(輸送用機器)	コンサル・調査n=6	クレジット・債権・リース ・その他ファイナンス	美容・理容・エステティック	その他サービス
メーカー(食品・農林水産) n=14	メーカー(農林・水産・食品)		コンサルティンク・調査		
メーカー(住宅) n=3	メーカー(住宅・インテリア)	商社 n=76	総合商社	流通・小売 n=18	専門店
メーカー(化粧品・医薬品) n=10	メーカー(化粧品・医薬品)		専門商社		百貨店
メーカー(素材) n=20	メーカー(繊維・化学・薬品)	人材・教育 n=22	人材・アウトソーシング	マスコミ n=16	スーパー・コンビニ
メーカー(鉄鋼・金属・鉱業)	メーカー(鉄鋼・金属・鉱業)		教育		マスコミ(広告・出版・印刷)
インフラ(エネルギー・運輸・物流) n=17	電力・ガス・エネルギー	情報・通信 n=131	通信・情報	官公庁・団体 n=6	マスコミ(放送)
インフラ(建設・不動産) n=50	運輸・物流		ソフトウェア・情報処理		公社・団体
	建設		インターネット・情報サービス		官公庁
	不動産	その他n=44	メーカー(その他)・その他		

【その他の調査項目】

※下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。

<学生調査>

- ・ インターンシップへの応募、参加 ・ インターンシップへの応募理由
- ・ エントリー・説明会予約時の重視項目 ・ 地元就職 ・ 志望業界（総合）
- ・ 志望業界（文系） ・ 志望業界（理系） ・ 志望業界の決定時期
- ・ 業界別の志望理由 ・ 職種別の志望理由 ・ 志望職種（総合）
- ・ 志望職種（男女文理別） ・ 就職活動開始前と開始後の学生生活の変化
- ・ 働くことに対する印象（影響を受けた相手）

<企業調査>

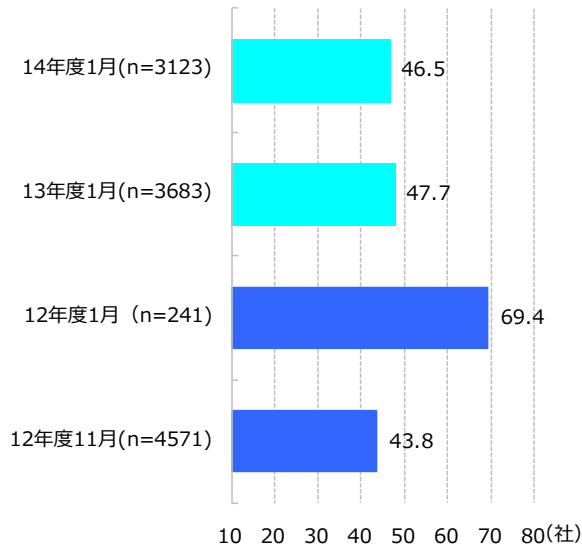
- ・ 新卒採用予算 ・ 採用活動全体像 ・ 母集団形成の手段 ・ 会社説明会開催概要
- ・ 会社説明会で学生に伝えたいこと ・ 選考手法 ・ 内定者フォローの取り組み状況
- ・ 内定者フォロー内容 ・ 内定者フォローの課題

※一般財団法人 エン人財教育センター調べ

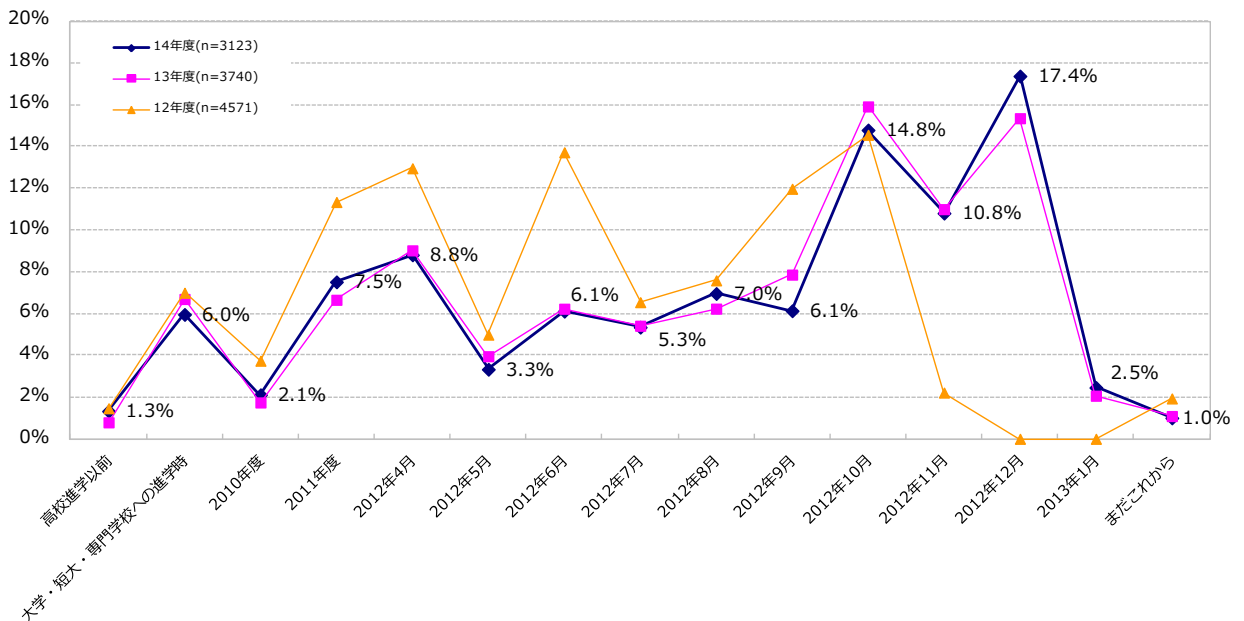
【[en] 学生の就職情報について】 <http://gakusei.enjapan.com/>

大学生・大学院生・短大生・専門学生を対象とした、力のある中堅・中小・ベンチャー企業に特化した求人情報を掲載している学生向け就職情報サイト。イメージ先行の就職活動を行いがちな学生に対し、規模や知名度では計りしれない企業の「力」を5つの「力」の項目で紹介し、仕事理解を深めます。

【図1：エントリー平均社数<学生調査>】



【図2：就職活動を意識し始めた時期<学生調査>】



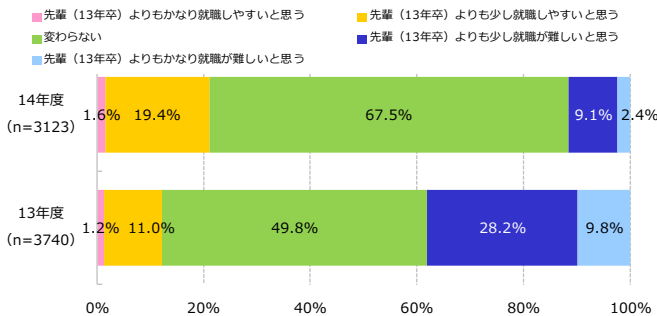
本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

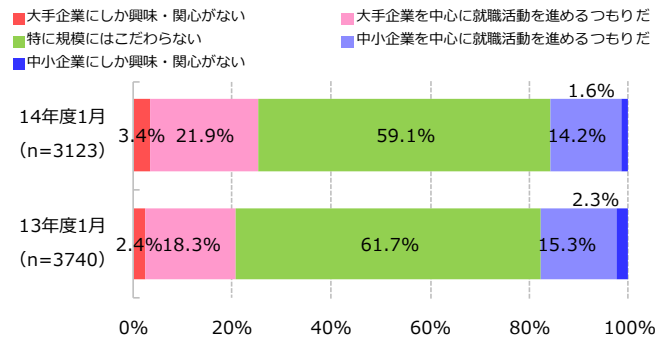
エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
 TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com

【図3：先輩と比較した就職活動の印象<学生調査>】



【図4：就職活動において興味関心を抱いている企業規模<学生調査>】



【コメント1：先輩と比較した就職活動の印象<学生調査>】

【先輩よりもかなり就職しやすいと思う】

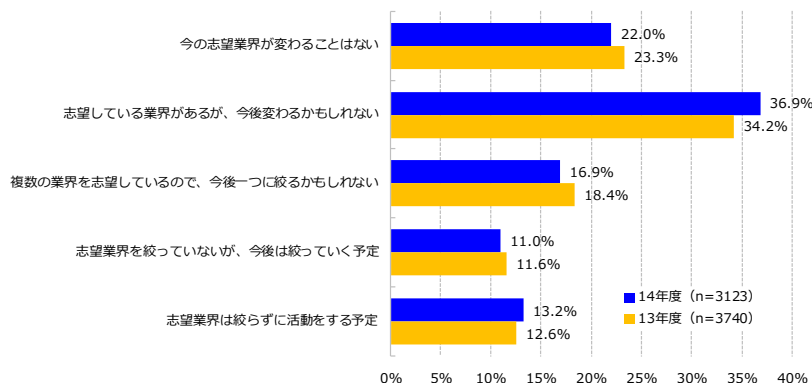
- アベノミクスで景気が好調だから。（理系/男性）
- 【先輩よりも少し就職しやすいと思う】
- 景気が回復しつつあるし、円安が進むと思うから。（文系/女性）
- 12月から採用が開始になったのが去年からだったのである程度先輩から就活スケジュールについての情報が得られるため。（文系/男性）
- 【変わらない】
- 自分の出来次第だから、先輩と比べてもしょうがない。（文系/男性）
- 1年の差というのは就職活動において大きいとは思えない。（文系/女性）
- 【先輩よりも少し就職が難しいと思う】
- 景気は今のところ好転していないため。（理系/男性）
- 【先輩よりもかなり就職が難しいと思う】
- 就職活動の期間が短期化しているため。（文系/女性）

【コメント2：就職活動において興味関心を抱いている企業規模<学生調査>】

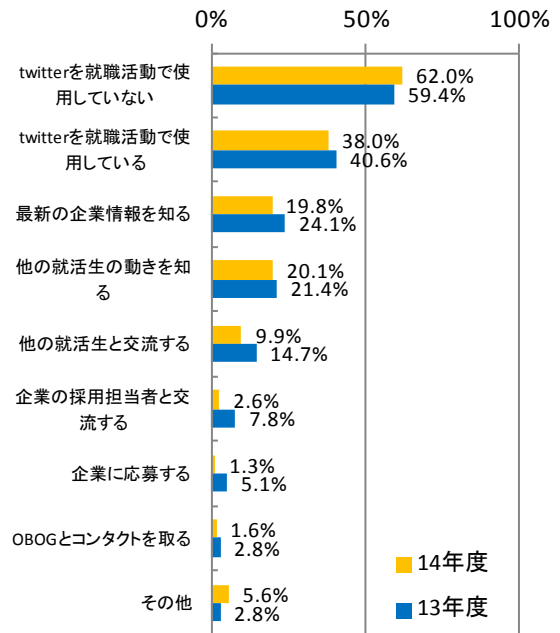
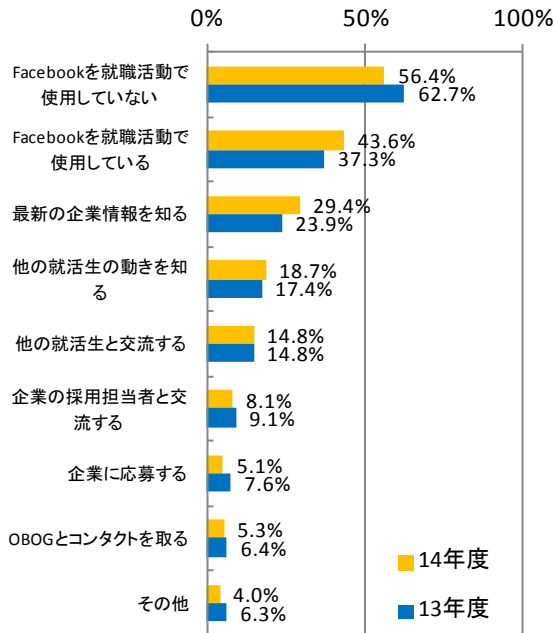
【大手企業にしか興味・関心がない】

- 知名度があり、福利厚生がしっかりしているから。（文系/男性）
- 【大手企業を中心に就職活動を進めるつもりだ】
- 転職するときに大手企業だと有利。（理系/男性）
- やはり大企業は安定しているイメージがあるし、教育がしっかりしている感じがする。（文系/女性）
- 【特に規模にはこだわらない】
- 規模よりも業務内容が重要だから。（文系/女性）
- 【中小企業を中心に就職活動を進めるつもりだ】
- 大手ばかりを狙って、なかなか決まらないという話をよく聞くから。（理系/女性）
- これから大きく飛躍する可能性を秘めているため。（理系/男性）
- 【中小企業にしか興味・関心がない】
- 大手企業と違い、従うだけでは無く自分の力で会社を良くしていけると感じるから。（文系/男性）

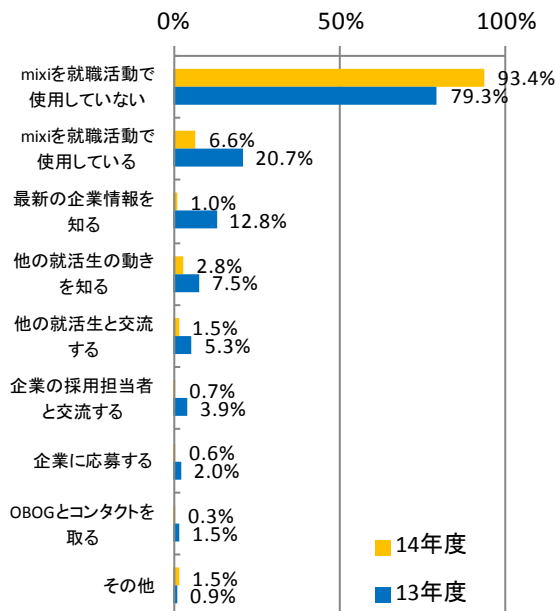
【図5：志望業界の変化の可能性<学生調査>】



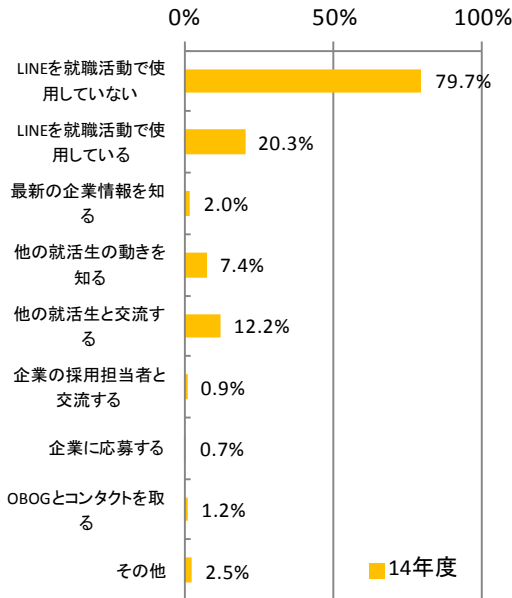
【図6：就職活動でのFacebook使用目的<学生調査>】 【図7：就職活動でのTwitter使用目的<学生調査>】



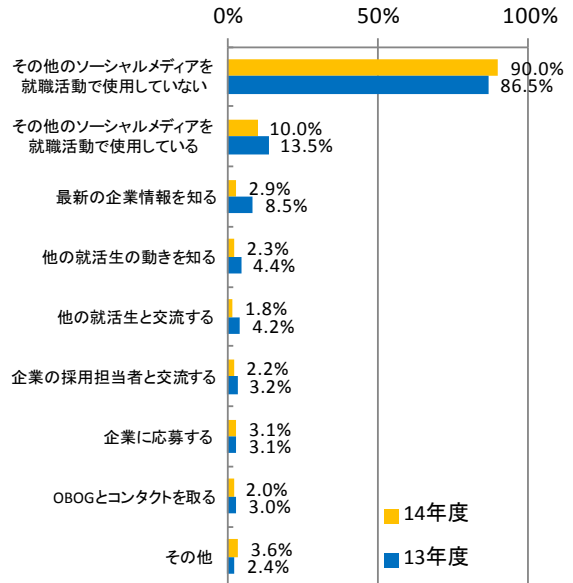
【図8：就職活動でのmixi使用目的<学生調査>】



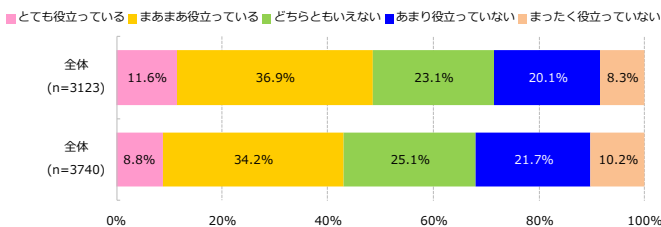
【図9：就職活動でのLINE使用目的<学生調査>】



【図10：就職活動で前述以外のソーシャルメディア使用目的<学生調査>】



【図11：ソーシャルメディアの就職活動への役立ち度<学生調査>】



【コメント3：ソーシャルメディアの就職活動への役立ち度<学生調査>】

【とても役立っている】

●他の人の就職活動の状況がわかるから。
(文系/男性)

【まあまあ役立っている】

●最新の企業情報や選考状況、セミナーや説明会の情報、ESやその他様々な情報を得ることができるから。

(文系/女性)

●気軽に見たときに情報収集が可能。(理系/男性)

【あまり役立っていない】

●ソーシャルメディアより、その企業のサイトをしっかりと

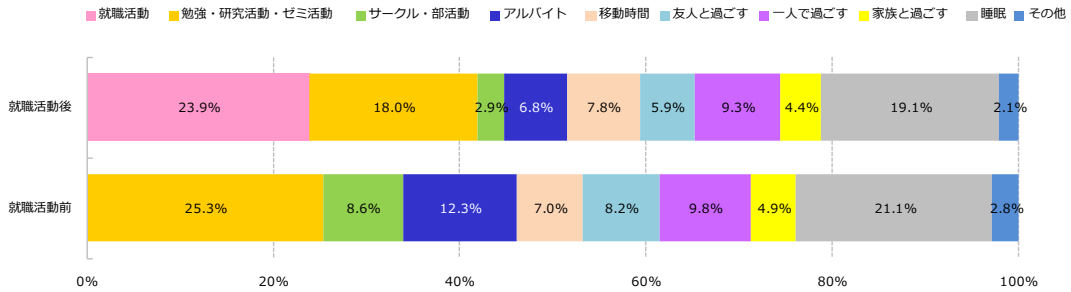
見る方が良いと感じるため。(文系/女性)

●どれほど信頼出来る情報かわからないから。
(理系/男性)

【まったく役立っていない】

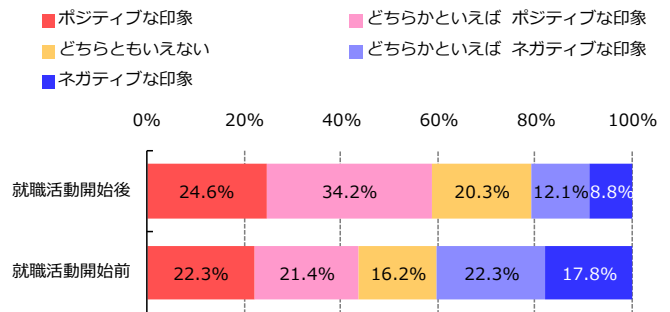
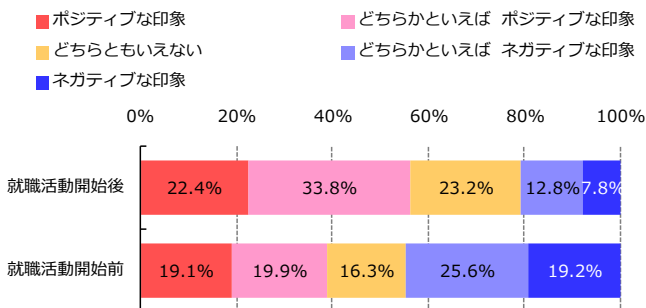
●有益な情報が少ない。(文系/男性)

【図12：就職活動開始前と開始後の学生生活の変化<学生調査>】 (n=3123)

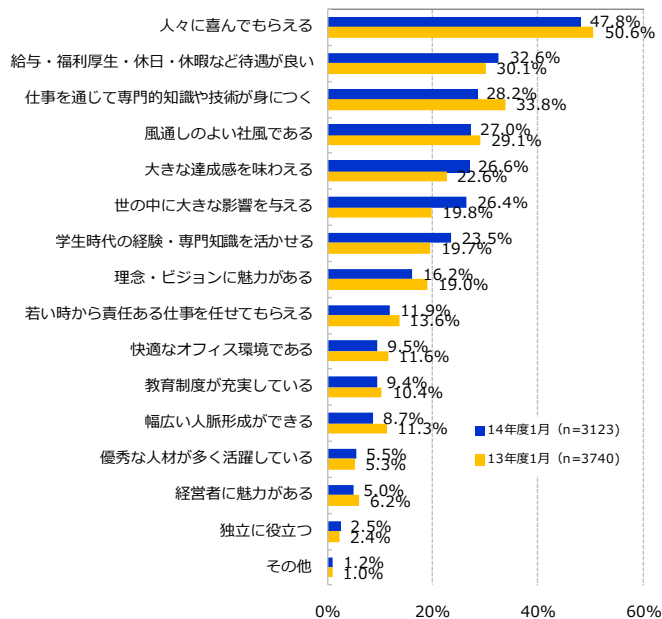


【図13：働くことに対する印象※14年度<学生調査>】

【図14：働くことに対する印象※13年度<学生調査>】

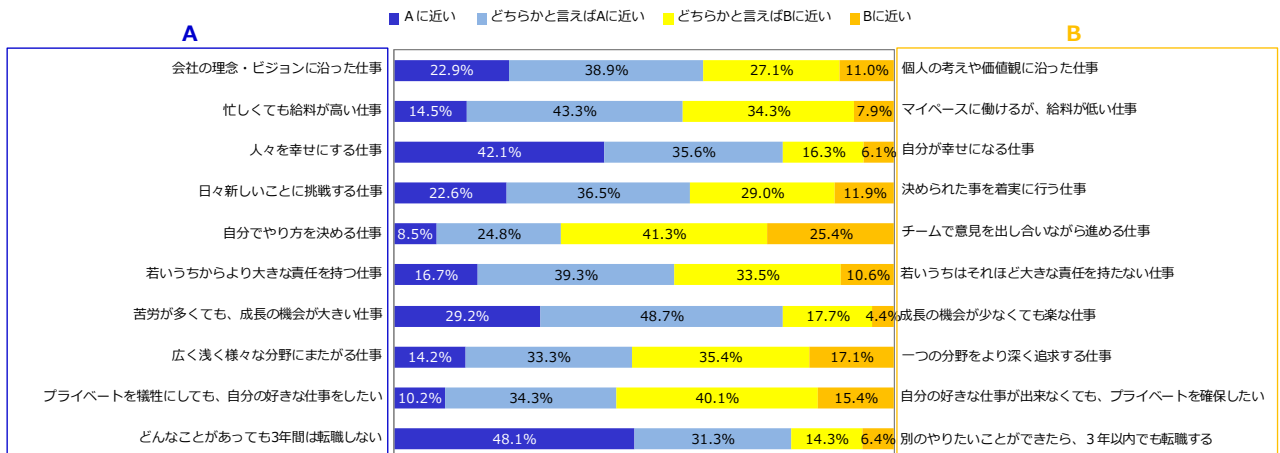


【図15：入社したい会社の条件※前年比<学生調査>】

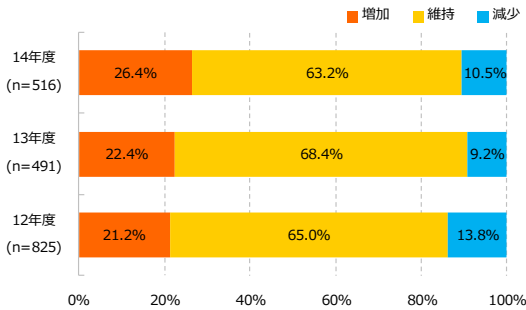


【図16：仕事・働き方に対する志向性

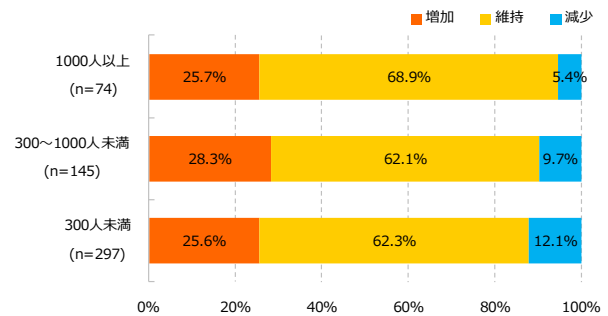
※学生が自身の志向する仕事・働き方として、AとBの選択肢のうち近いものを選択<学生調査>】



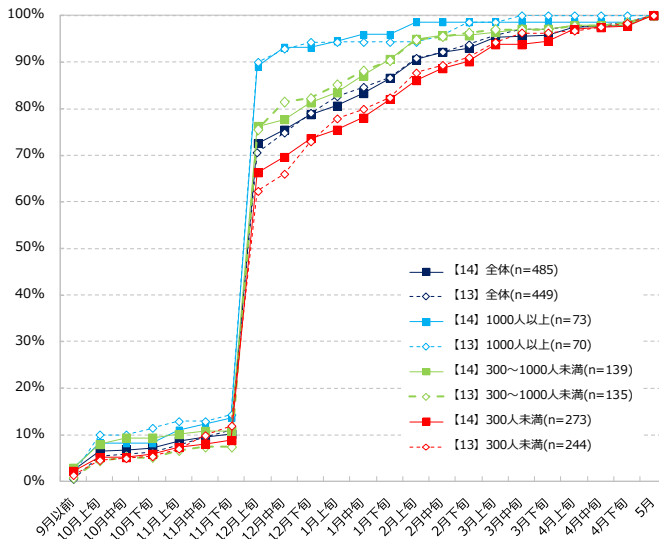
【図17：前年と比較した新卒採用人数の増減
※年度別 <企業調査>】



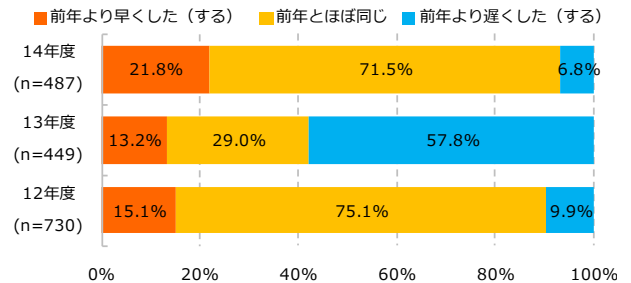
【図18：前年と比較した新卒採用人数の増減
※企業規模別 <企業調査>】



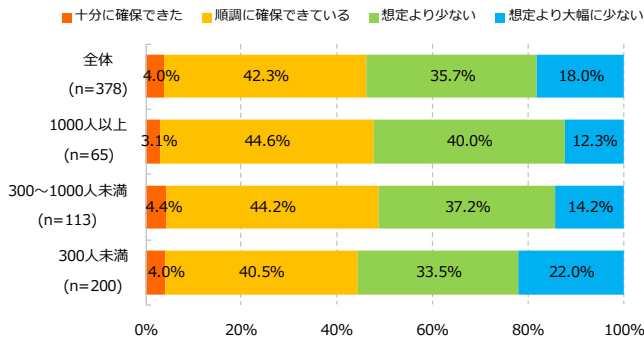
【図19：母集団形成開始時期※累計<企業調査>】



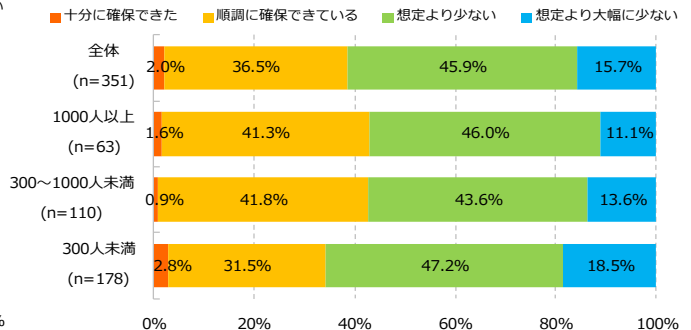
【図20：前年と比較した母集団形成開始時期
※年度別<企業調査>】



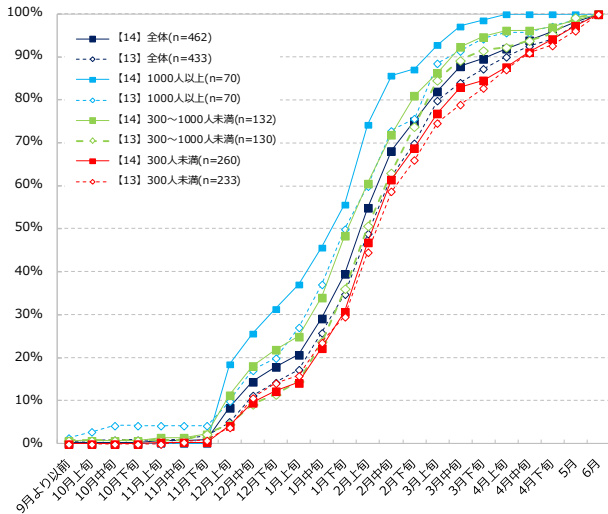
【図21：全体のエントリー数<企業調査>】



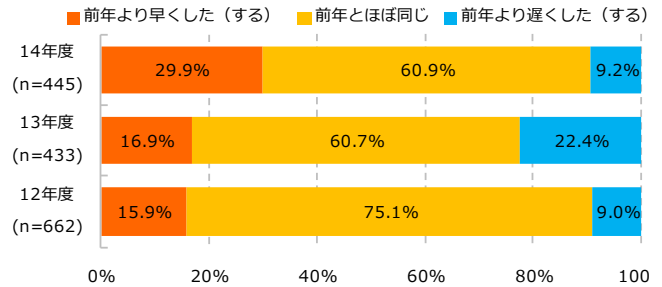
【図22：ターゲット学生からのエントリー数
<企業調査>】



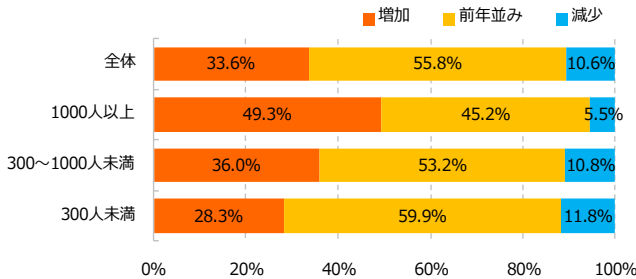
【図23：企業セミナー開始時期※累計<企業調査>】



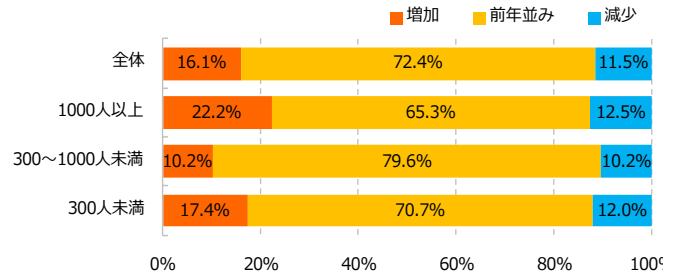
【図24：前年と比較した企業セミナー開始時期※年度別 <企業調査>】



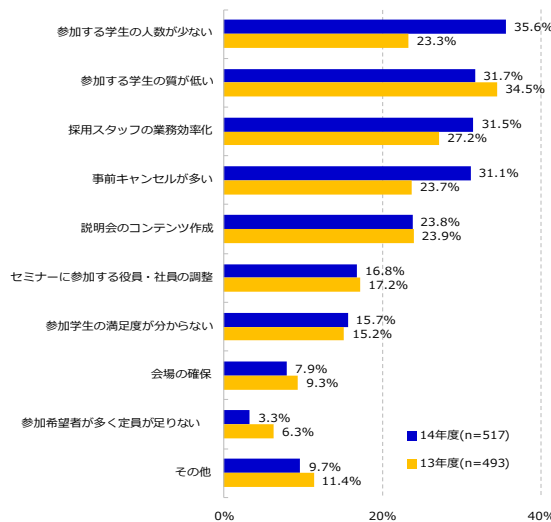
【図25：企業セミナーの開催回数※前年比<企業調査>】



【図26：企業セミナーの1回あたりの参加学生人数 <企業調査>】



【図27：企業セミナーについて感じている課題※前年比<企業調査>】



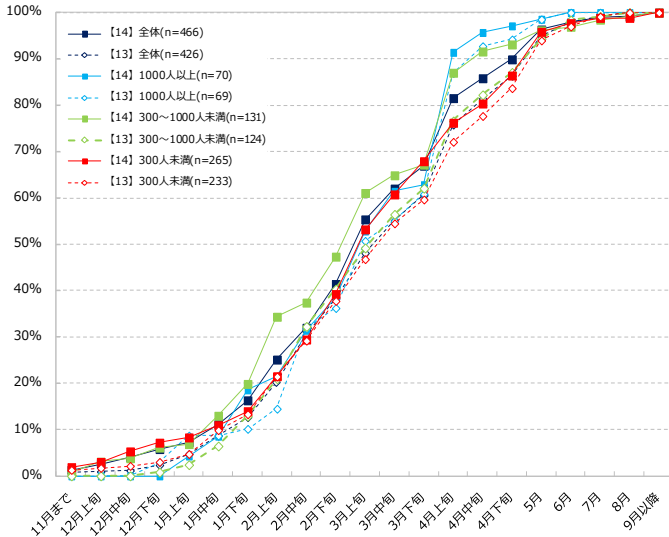
本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

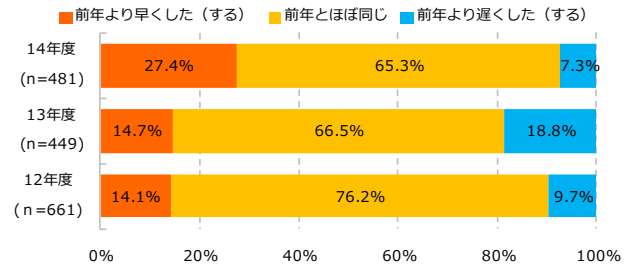
エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
TEL：03-3342-4506 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com

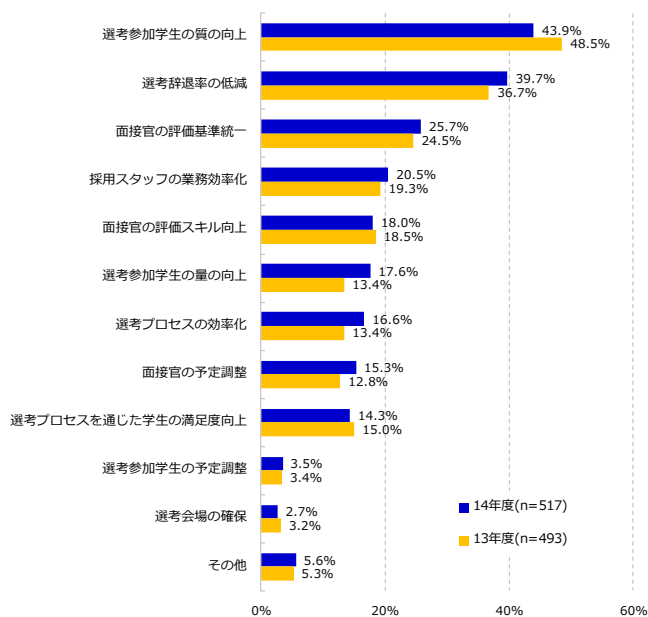
【図28：選考開始時期※累計<企業調査>】



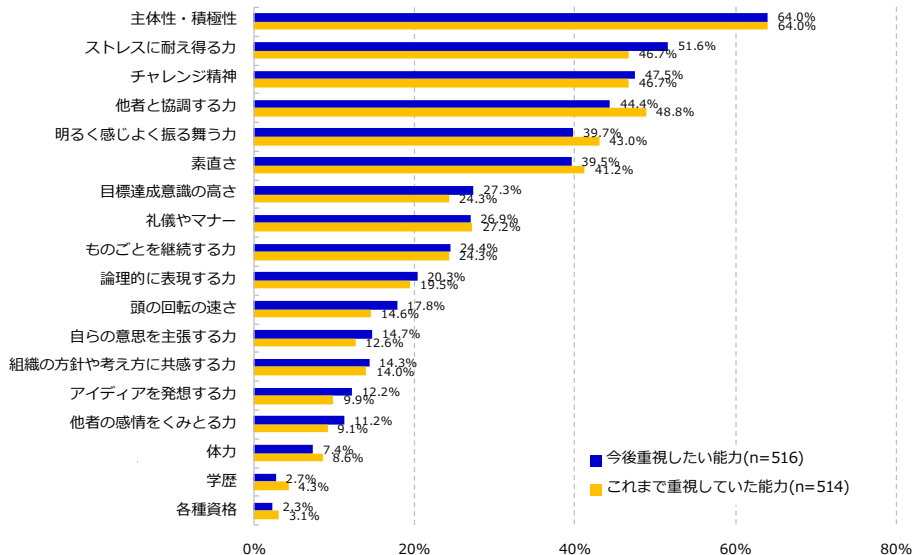
【図29：前年と比較した選考開始時期
※年度別 <企業調査>】



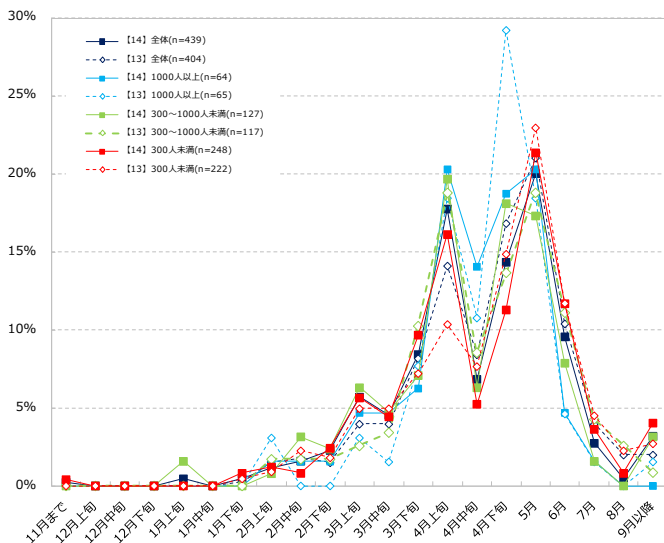
【図30：選考について感じている課題<企業調査>】



【図31：採用基準として重視する能力・適性<企業調査>】



【図32：内定出し開始時期<企業調査>】



【図33：前年と比較した内定出し開始時期
 ※年度別 <企業調査>】

